

フォーラムテーマ:「シリアスゲームによる学びの効用」

フォーラムの目的

政策情報学フォーラムは、議論を行う上で時間的制約などがある研究大会などのイベントとは異なり、小規模で政策情報学に関連した様々なテーマを取り扱い、時間をかけた密度の高い議論を行っていくことにあります。また、さまざまな異なる立場の交流と協働の「開かれた対話と創造の場」として構想されており、現実のさまざまな政策問題を探求・検討し、実際にその解決策を提示しながら、社会の持続的発展に寄与することを狙いとしています。

◆開催日時: 2021年7月11日(日) 14:30~17:00

◆開催会場: オンライン開催

◆フォーラムテーマ趣旨:

近年「シリアスゲーム」を通じての学びが、一般社会においても、また教育機関においても注目されてきている。シリアスゲームとは、現実には起こりうるシリアスな社会的課題を参加者に疑似体験してもらい、当該課題を認識するのみならず、その解決策までも考究してもらうゲームのことである。今回のフォーラムでは、このシリアスゲームの開発ならびに普及活動を行っている上原一紀氏(UrboLab 代表、千葉商科大学客員講師)をお招きして、超高齢社会における社会的孤立の解決を考えるシリアスゲーム「コミュニティコーピング」のワークショップを開催していただき、また合わせてゲームを通じた学びの意義や効用について報告していただくことを予定している。参加の方々には、上原氏に提供していただくシリアスゲームを実際にプレイしてもらい、ゲームを通じての学びの効用を感じていただければ幸いです。



◆基調報告講師: 上原 一紀 氏(UrboLab 代表、千葉商科大学客員講師)

◆基調報告演題: 「シリアスゲームによる学びの効用」

◆プログラム:	14:30-14:40	開会挨拶 政策情報学会 会長 若井 郁次郎 (モスクワ州国立大学)
	14:40-14:50	フォーラム趣旨説明 フォーラム実行委員会委員長 淵元 哲(千葉商科大学)
	14:50-16:10	ワークショップ
	16:10-16:20	休憩
	16:20-16:40	基調報告:上原一紀氏 「シリアスゲームによる学びの効用」
	16:40-17:00	フロア討論・まとめ

◆主催: 政策情報学会

◆参加費: 無料

◆出欠連絡の方法: 準備の都合上、出席・欠席に関わらず、7月4日(日)までに政策情報学会 Web サイトから出欠連絡をお願いいたします。

【学会 Web サイト】 <http://www.policyinformatics.org/>

※非会員の方の参加も大歓迎です。また参加希望者には申込締め切り後、フォーラム実行委員会もしくは事務局より参加方法についてメールを差し上げます。

問い合わせ先: 政策情報学会事務局 info@policyinformatics.org